

試合番号 : 303	試合会場 : 総合交流センター (夢アリーナたかた)	観客数 : 550		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:44	試合時間 : 01:44		
主審 : 高橋 宏明	副審 : 早坂 行博			
埼玉上尾メディックス	通算 3勝 0敗 ポイント: 9	25 第1セット 20	PFUブルーキャッツ	通算 0勝 3敗 ポイント: 2
監督コメント	PFUの高さとパワーのある攻撃をどう守っていくかにフォーカスをして準備してきました。ブロックとディフェンスの関係性を試合の中で機能させることができたのが勝因です。この陸前高田市で今年の8月に夏合宿をさせていただきチーム作りをしてきました。地元の方々から心温まるサポートを通して、また、いかなる状況でも前を向かってチャレンジしていきたいです。今日もたくさんのご声援をありがとうございます。	3	25 第2セット 18	0
要約レポート	開幕2連勝と好スタートを切った埼玉上尾メディックスが、PFUブルーキャッツを迎えたホーム開幕戦。第1セット、序盤は両チーム得点を取り合う展開となる。中盤以降、埼玉上尾は、佐藤にボールを集め徐々にリードを広げセットを先取する。第2セット、序盤はPFU志摩のスパイクで得点を重ねる。対する埼玉上尾は佐藤、青柳のスパイク、サンティアゴのブロックが効果的に決まり得点を重ねる。流れを変えたいPFUはバルデス、ジャンにボールを集め追いすがるも、勢いそのままに埼玉上尾がセットを連取する。第3セット、後がなくなったPFUは鎗谷をスタートから入れ序盤から得点を重ねる。中盤、PFU瀬戸の効果的なサーブで20-20の同点まで迫るも、攻撃力で勝る埼玉上尾がサンティアゴのスパイクで押し切り、セットカウント3-0で埼玉上尾が勝利した。	25 第3セット 22	25 第4セット	25 第5セット

試合番号 : 304	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 830		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:38	試合時間 : 02:38		
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 慈眼 雅啓			
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 1勝 2敗 ポイント: 3	22 第1セット 25	ヴィクトリーナ姫路	通算 1勝 2敗 ポイント: 4
監督コメント	会場までご足労いただきましたファンの皆様、本当にありがとうございます。内容は決して良いものではありませんでしたが、選手たちが最後まで強い気持ちをもって戦ってくれました。明日もホームゲームとなりますので、ファンの方々と共に戦いたいです。本日はありがとうございました。	3	21 第2セット 25	2
要約レポート	先週の開幕カードを1勝1敗で終えたヴィクトリーナ姫路と、連敗したKUROBEアクアフェアリーズとの対戦。第1セット、姫路はブラク、KUROBEはイヴェギンが攻撃の中心となり、中盤まで2点差内での接戦が続く。16-15から姫路が宮部、ブラクの連続得点で3点差をつけると、そこから佐々木、田中の連続スパイクで21-16とリードを広げる。KUROBEもコクラムのスパイクなどで3連続得点し追いつくも届かず、姫路がセットを先取した。第2セット、KUROBEが先行し、姫路が追い掛ける展開で進む。11-14から姫路が粘りのあるレシーブから田中、宮部などが連続得点を重ねる。15-16から3連続得点し18-16と一気に逆転すると、その後もブラクの強烈なスパイクで連続得点しリードを広げる。最後は櫻井がサービスエースを決め、姫路が連取した。第3セット、KUROBEはサイドアタッカーの小杉を先発させる。小杉、コクラムのスパイクなどでKUROBEが12-9とリードするも、姫路も宮部、田中のスパイクで応戦し13-13と追いつく。18-18から、KUROBEのコクラムが2連続でスパイクを決め、リードを保って終盤に入る。KUROBEが23-22から高橋、コクラムが連続得点し、セットを取り返した。第4セットもKUROBEが取り、勝負の行方は最終セットにもつれこんだ。第5セット、KUROBEが3-4からコクラムのスパイク、山口のブロックなどで4連続得点すると流れを掴み12-8とする。しかし、姫路が松本のスパイクなどで2連続得点を3度重ね14-14と追いつくと、そこから20点を超える大熱戦となる。一時、姫路に逆転されるも、KUROBEが4回連続本場の安定したサーブレシーブから中村、コクラムがスパイクを決めて最終セットで勝利した。	25 第3セット 22	25 第4セット 21	23 第5セット 21

試合番号 : 305	試合会場 : ウィングアリーナ刈谷	観客数 : 600		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:27	試合時間 : 01:27		
主審 : 明井 寿枝	副審 : 品川 美帆			
トヨタ車体クインシーズ	通算 1勝 2敗 ポイント: 3	17 第1セット 25	NECレッドロケッツ	通算 1勝 2敗 ポイント: 3
監督コメント	ホームゲーム初戦、勝ちに行く意識を強く持って挑んだが、0-3と悔しい敗戦だった。スタートはリズム良く戦っていたが、1つの失点をもとに崩れてしまい修正しきれなかった所が敗因であった。ホームゲームたくさん応援ありがとうございます。明日も引き続きよろしくお願いします。	0	15 第2セット 25	3
要約レポート	ホーム開幕戦での勝利を狙うトヨタ車体クインシーズと、今シーズン初の白星を狙うNECレッドロケッツの対戦。第1セット、トヨタ車体は大川、ダニエルを中心に攻め、対するNECは古賀、山内、古谷を中心に攻め合いが続く。中盤からNECは塚田のサービスエースや、古賀のブロックなどで徐々に点差をつけると、最後は上野のスパイクが決まり、17-25でNECがセットを先取した。第2セット、NECは古賀のサーブから7連続得点、古谷の2連続サービスエース、山内のサービスエースと、終始サーブで流れを作る。トヨタ車体も大川、ハッタヤを中心に反撃を狙うがNECの勢いを止められず、最後はNEC山内のスパイクが決まり15-25で2セット目もNECが連取した。第3セット、トヨタ車体はプレーヤーコートコート荒木から「パレーボール-ここから」の言葉を受け奮起し、ダニエル、山上などのブロックで得点するが、NECは終始サーブで流れを作り、攻撃陣が多岐なプレーで得点を重ねる。終始攻め続けたNECがこのセットも16-25で連取し2セットで勝利を取めた。	16 第3セット 25	第4セット	第5セット

試合番号 : 306	試合会場 : 西尾市総合体育館	観客数 : 725		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:55	試合時間 : 01:55		
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 饗庭 和恵			
デンソーエアリービーズ	通算 0勝 3敗 ポイント: 1	14 第1セット 25	日立Astemoリヴァーレ	通算 3勝 0敗 ポイント: 8
監督コメント	今シーズン初のホームゲームを絶対に勝ち切ろうと試合に臨みました。意識していたスタートでボールが上手く繋がらずリズムを掴めませんでした。第2セット以降で1本目のボールが安定してきて、攻撃に勢いを付けることができました。第3セット以降はサーブで相手を崩せず、流れを作れませんでした。今日の試合では見に来られた方々の温かい雰囲気の後押しして頂きました。明日はエアリービーズが皆さまにパワーを届けられるように頑張ります。本日はありがとうございます。	1	25 第2セット 20	3
要約レポート	開幕2連勝で勢いに乗る日立Astemoリヴァーレと新ユニフォームを披露したホームゲーム初勝利を目指すデンソーエアリービーズの試合。第1セット、日立Astemoは上坂、オクム大庭のブロックと上坂、長内、入澤の攻撃で得点を重ね、デンソーを寄せ付けずにセットを先取した。第2セット、ミドルブロックを2枚と代えて流れを変えたいデンソーは、序盤こそ日立Astemoに先行されたが中元のサーブから11-11で同点に追いつくと、調子を上げてきたネリマンと横田(真)のアタックで14-11と引き離す。ネリマン、兵頭のブロックや松井、横田(真)のコンビで得点を重ねたデンソーがセットを奪い返した。第3セット、日立Astemoが6-1と序盤から第1、2セットと同じスタートダッシュをする展開となった。オクム大庭、長内、タップ、入澤の攻撃がデンソーのコートに突き刺さる。入澤は終盤にサービスエースを決めるなど活躍が光った。デンソーはリベロの福留の献身のレシーブ、丁寧な2段トスも光り、ネリマン、兵頭を中心に点を重ねたが、一歩及ばなかった。第4セット、後がなくなったデンソーは、中盤まで競った展開となる。13-16から中元が緩急をつけたアタックで4連続得点を取った。この時点まではどちらに流れが傾くかわからない拮抗した状況ではあったが、日立Astemoはタップ、入澤の攻撃も要所で決まり最後は長内が連続でアタックを決め、開幕3連勝とした。	22 第3セット 25	21 第4セット 25	25 第5セット

試合番号 : 307		試合会場 : YMITアリーナ (くさつシティアリーナ)				観客数 : 1,331						
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:10		試合時間 : 02:10		主審 : 森口 豊	副審 : 長崎 有紗					
東レアローズ		通算	2勝	1敗	25	第1セット	21	JTマーヴェラス		通算	3勝	0敗
			ポイント :	5	14	第2セット	25				ポイント :	7
<p>今シーズン初のホームゲームに沢山の方にご来場いただきありがとうございます。粘り強いディフェンス力のあるJTマーヴェラスに対してミドルブロッカーを中心とした攻撃をテーマに挑みましたが、勝負所でのコンビの精度と1本目2本目の精度が悪く、自分達から失点してしまった事が敗因になりました。明日、もう一度自分たちの攻撃を機能させられるように、一つ一つのプレーを丁寧に戦います。引き続き応援の程よろしくお祈りします。</p>		2			25	第3セット	19	3	<p>相手チームのホームゲーム。多くのバレーボールファンの中で試合ができることに感謝いたします。攻撃力が勝る東レアローズに対して、ブロックとディグの関係が良く粘り強い試合で勝利できた。色々な選手が出場し、結果をのこしてくれた。明日に向けて、自分達の試合での修正をし、良いコンディションを作っていくと準備します。本日は、ありがとうございました。</p>			
					22	第4セット	25					
					13	第5セット	15					
<p>2連勝で迎えた両チームの対戦。3連勝と波に乗りたいた両チームの意地と意地がぶつかり合う激しい接戦となった。第1セット、序盤から終盤にかけてシーソーゲームとなる。21-20のときに東レアローズは大崎に代わり黒後をリリーフサーバーで投入。サーブで崩したあとクランのブロックポイントで2点差をつけ、そのまま第1セットを東しがとる。第2セット、東しから3点のリードを奪ったJTマーヴェラスであったが、東レ・クランの活躍で11-11となる。JTはロウがブロックポイントを決め勢いに乗る。その後東レのミスとロウのスパイクで着実に点数を積み重ねこのセットを25-14で取り返す。第3セット、このセットは序盤から東しのクラン、石川、小川、深澤の多彩な攻撃が冴える。JTもロウにボールを集めるが、リードを守った東しがこのセットを取り、セットカウントを2-1とした。第4セット、序盤から一進一退の攻防が繰り返される。10-10からJT田中のパイプ攻撃、神原のブロックが決まり2点差をもってテクニカルタイムアウトへ。その後東しはクラン、石川の両エースにボールを集め食らいつき20-20となる。JTは途中出場のロウが立て続けにスパイクを決め、このセット25-22と逃げ切った。第5セット、運命の最終セット。東しは小川のクイックなどで4点のリードをする。しかし、JTも田中のスパイクやタツタオのブロックで同点に追いつく。最後は4セット目同様途中出場のロウがスパイクで得点し15-13と大接戦を勝利で飾った。</p>												

試合番号 : 308		試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)				観客数 : 1,310						
開始時間 : 14:05		終了時間 : 16:38		試合時間 : 02:33		主審 : 正岡 卓	副審 : 山本 晋五					
久光スプリングス		通算	2勝	1敗	20	第1セット	25	岡山シーガルズ		通算	1勝	2敗
			ポイント :	5	25	第2セット	16				ポイント :	4
<p>岡山シーガルズはディフェンスが良いチームということでタフなゲームになることは予想していた。長いラリーもあったが、最後までボールを落とさない姿勢が終始できていたところは非常に良かった。また途中出場したメンバーの勢いあるプレーもあり、勝ちに繋がれたと思う。明日もタフな試合になると思うが、チーム全員でハードワークして勝利を掴み取りたい。本日のホームゲームも沢山の応援ありがとうございます。</p>		3			23	第3セット	25	2	<p>本来の流れを呼び寄せる繋ぎのプレーの確実性の足りなさでセットを失い試合の明暗を分けた。全体を確認しつつ、要所でのトスワークのレベルをもう一歩成長させていきたい。反省を生かし明日の試合に切り替えたい。本日はたくさんの方の応援ありがとうございます。明日も引き続きよろしくお祈りします。</p>			
					25	第4セット	19					
					15	第5セット	11					
<p>今シーズン、神戸のホームゲーム第一戦となる久光スプリングスと、共に1勝1敗の岡山シーガルズの一戦。第1セット、久光は深澤、石井に、岡山シーガルズは金田、佐伯にボールを集め、攻撃のリズムを作り先行する。中盤以降、久光は石井のブロックや深澤、長岡のスパイクで追いつくが、岡山もタナツチャのスパイクを起点に、的を絞った高いブロックで翻弄し、岡山がセットを先取した。第2セット、久光はファンヘックのブロックや荒木の強烈なスパイクで得点を重ねる一方、岡山も川島のブロック、金田のスパイクで応戦するも、要所で点数を重ねた久光がセットを取り返した。第3セット、久光は深澤の緩急をつけた攻撃、ファンヘックのスパイクでリードする。中盤以降、岡山は付、高柳の連続ブロックで攻撃を阻むと、佐伯のスパイクが要所で決まり、セットを取り返した。第4セット、久光はセッター栄の巧みなトス回しで、中島、深澤、荒木の攻撃を後押しして序盤にリードする展開となる。岡山は付、高柳が攻撃の要となるが、リベロ戸江のフィンセーブから繰り出される攻撃を生かした久光がセットを取り返した。第5セット、久光は序盤に中島のサーブエース、ファンヘックの強いスパイクで流れを掴むが、岡山も金田、タナツチャにボールを集め、中盤まで互角の戦いとなる。久光の中島が相手ブロックを打ち抜く強烈なスパイクなどで一気に突き放すと攻守の歯車噛み合った久光が熱戦を制し神戸大会の初戦を勝利した。</p>												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :					
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント :	-							ポイント :	-
監督コメント						第2セット		監督コメント				
						第3セット						
						第4セット						
						第5セット						
要約レポート												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :						
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :					
		通算	-勝	-敗		第1セット				通算	-勝	-敗
			ポイント :	-							ポイント :	-
監督コメント						第2セット		監督コメント				
						第3セット						
						第4セット						
						第5セット						
要約レポート												